

三陸復興 国立公園

National
Parks
of Japan



連絡先一覧

東北地方環境事務所

〒980-0014 宮城県仙台市青葉区本町3-2-23

仙台第二合同庁舎6F

| TEL | 022-722-2870

| URL | <http://tohoku.env.go.jp/>



三陸復興国立公園管理事務所

〒027-0001 岩手県宮古市日立浜町11-30

| TEL | 0193-62-3912

八戸管理官事務所

〒039-1166 青森県八戸市根城9-13-9

八戸合同庁舎地下1階

| TEL | 0178-73-5161

大船渡管理官事務所

〒022-0001 岩手県大船渡市末崎町字大浜221-117

| TEL | 0192-29-2759

石巻管理官事務所

〒986-0832 宮城県石巻市泉町4-1-9 石巻法務合同庁舎1F

| TEL | 0225-24-8217

三陸復興国立公園サイト

<http://www.env.go.jp/park/sanriku/>



発行者：環境省
発行年：2024年

※ 見どころ案内マップは、指定区域の概要を示すために作成したものであり、誤差があることを考慮した上でご利用ください。

国立公園とは

三陸復興国立公園



国立公園は、日本を代表する自然の風景地として、自然公園法に基づいて国が指定するものです。

北は北海道から南は沖縄、小笠原諸島まで35の国立公園が指定されており、年間3億人以上が利用しています。国立公園内は、自然の絶景だけではなく、野生の動植物、歴史文化などの魅力の宝庫です。日本の国立公園は、森林、農地、集落など多様な環境が含まれていることが特長です。ほとんど手つかずの自然が残されているところがある一方で、自然と人の暮らしが織りなす地域の歴史や文化にふれることができます。

是非、実際に国立公園を訪れ、四季折々に変化する日本の美しい自然を満喫してください。

地形地質

— 地形 —

北上山地の東側で太平洋に面した陸地がリアス海岸となっており、特徴的な地形となっています。リアス海岸は宮古以南から続く海岸線と直行した断層が侵食され、海面上昇により沈んだことから成り立っています。北部は主に海食崖と段丘面からなる海成段丘であり、高さ200mに達する海食崖もみられます。南部は半島の先端に海食崖を伴う典型的なリアス海岸となっており、複雑に入り組んだ海岸線に沢山の湾があります。それぞれ、岩礁海岸や砂浜、磯浜などが見られ、変化に富んだ地形は海鳥の繁殖地にもなっています。



六通洞



崎の断崖



砂浜



岩礁海岸



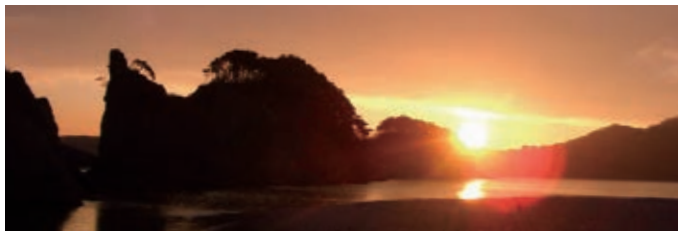
自然の恵みと脅威、
人と自然との共生により育まれてきた
暮らしと文化が感じられる国立公園

三陸復興国立公園は、東日本大震災により被災した三陸地域の復興に貢献するために、平成25年5月に創設された国立公園です。

南北の延長は約250km、北部は「海のアルプス」とも称される豪壮な大断崖、南部は入り組んだ地形が優美なリアス海岸が続きます。海岸にはウミネコやオオミズナギドリなどの海鳥の繁殖地があります。また、寒冷な海霧（やませ）や海岸の独特の環境に適した多様な海岸植物が生育しており、野生生物を間近に観察できます。浅海域にはアマモ場や海藻藻場が形成され、海洋の生物多様性を支える場にもなっています。

八戸・宮古・釜石・大船渡・気仙沼・石巻など日本有数の水揚げを誇る漁港を有しており、新鮮な海の幸を味わえるのも魅力です。災害からの復興を目的のひとつとした、国内では前例のない国立公園であり、防災教育の学習を目的とした人々も全国から訪れています。

【指定年月日】平成25年5月24日【関係都道府県】青森県、岩手県、宮城県【面積】28,539ha

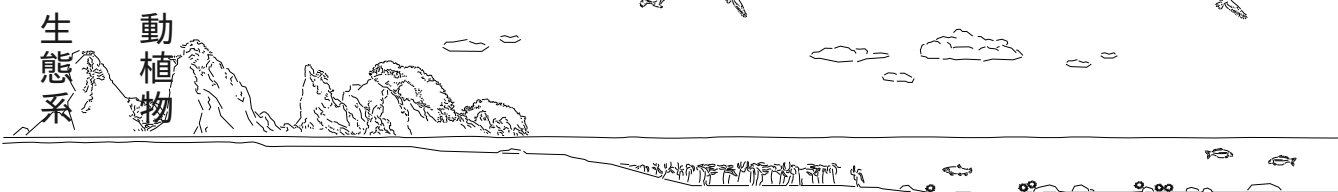


— 地質 —

主として北上山地の骨格を形成する古生層と、これに貫入した火成岩が中心で、部分的に白亜紀層や第三紀層なども分布しています。これら多種類の岩石が海食作用に異なる反応をみせ、海岸線は多様な地形を呈しています。白亜紀層の地層からは多数の化石が見つかっており、特に羅賓海岸は日本の代表的白亜紀化石を産する海岸として学術的にも貴重です。茂師地区では恐竜（モシリュウ）、歌津地区では魚竜（ウタツギョリュウ）の化石も見つかっています。



羅賓海岸の地層（明戸層・平井賀層の露出）



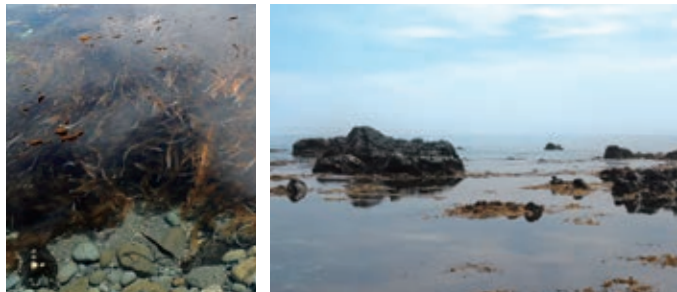
生態系

— 海域の生態系 —

寒流と暖流が交わる三陸地域は、アイナメやソイ、ウニ、アワビなど、水産資源としても重要な生物が生息しています。また、マコンブなどの寒海性とアラメなどの暖海性の海藻類が共存し生育する藻場や、アマモ類によるアマモ場が形成されています。特に志津川湾では、海藻・海草類が200種以上生育し、絶滅危惧種のコクガンなどの餌場や生息地となっており、日本で唯一の海藻藻場のラムサール条約湿地に認定されました。

— 動物 —

特に海鳥の繁殖地として重要な地域であり、日出島はクロコシジロウミツバメの、三貫島はオオミズナギドリ及びヒメクロウミツバメの集団繁殖地として、国指定鳥獣

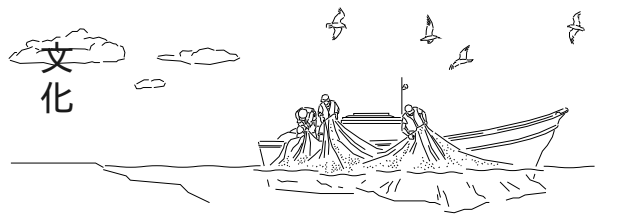


海鳥が生い茂る岩礁海岸



クロコシジロウミツバメ

ミサゴ



— 産業景観 —

沿岸には漁港が多数あり、展望地から望む海上には定置網が設置され、漁船の往来が目に入ります。特にリアス海岸となっている公園南部の湾内にはカキ、ホタテなどの養殖筏やワカメなどの養殖ブイが多数浮かべられ、典型的な漁業地域の風景を呈しています。また、種差海岸には、馬の放牧などの人為的影響によって維持されてきた広大なシバ草原が広がっています。

— 行事・風習 —

新造船に魂を入れる造船儀礼の儀式、大漁祈願のお守り「山オコゼ」、海上で山の見え方から現在地を知る「山アデ」といった、海や山に関連する風習の記録があります。また、秋田のなまはげに似た「スネカ」や民俗芸能の「黒森神楽」などの伝統行事もあります。



ワカメの収穫風景（気仙沼大崎）



種差天然芝生地

保護区に指定されています。沿岸の崖地にはミサゴなどの猛禽類が生息しています。

— 植生 —

青森県内は海岸植物群落が主体となっており、草原やお花畑が特徴的な地域です。崖地、砂浜、シバ地、塩生湿地など変化に富む海岸線に応じて多様な植物が生育しています。やませの影響で、高山植物も見ることがができます。岩手県及び宮城県内は海岸に生育するアカマツが主体となっており、環境に応じてスカシユリなどの海岸崖地植生やハマナスなどの砂浜植生が発達しています。また、北山崎のシロバナシャクナゲ群落や船越大島及び椿島のタブ原生林など、局所的に貴重な植生が見られます。



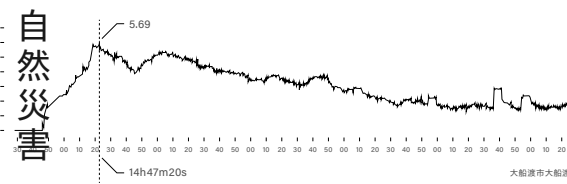
種差海岸のお花畑

岩場に咲くスカシユリ



椿島のタブ原生林

各地の海岸に咲くハマナス



— 震災メモリアルパーク中の派 —

15mを超える津波によって被災したキャンプ場やトイレの施設をそのときのままに見せる「震災遺構」の公園です。津波と同じ高さの目線に立つことができる「展望の丘」に登り、津波に没した範囲とその凄まじい威力を感じてください。



— 国立公園の創設を核としたグリーン復興 —

三陸復興国立公園の創設をはじめとした様々な取り組みを通じて、森・里・川・海のつながりにより育まれてきた自然環境と地域の暮らしを後世に伝え、自然の恵みと脅威を学びつつ、それらを活用しながら復興します。

- 三陸復興国立公園の創設
平成25年に三陸復興国立公園を創設し、平成27年に南三陸金華山国定公園を編入しました。
- 長距離自然歩道「みちのく潮風トレイル」
三陸復興国立公園北端の青森県八戸市の蕪島から福島県相馬市の松川浦まで続く約1,000kmのロングトレイルで、令和元年6月に全線開通しました。
<https://tohoku.env.go.jp/mct/>
- 復興エコツーリズム
地域の自然や暮らしなど、地域の宝を活かした、自然を深く楽しむ旅を創造するエコツーリズムを推進します。
- 森・里・川・海のつながりの再生
森・里・川・海のつながりなどの重要性を多くの人に理解してもらう取り組みと、自然環境の再生に取り組みます。
- 持続可能な社会を担う人づくり（ESD）の推進
被災者の体験を通して今後の防災に活かすべき知恵・知見を収集しながら、ESD推進のあり方を検討します。
- 自然環境モニタリング
ウェブサイト「しおかぜ自然環境ログ」を立ち上げ、様々な情報を収集・公開しています。
<http://www.shiokaze.biodic.go.jp/>
- 里山・里海フィールドミュージアム
宮城県北部にある鶴倉山を中心とした地域をフィールドミュージアムとして位置づけ、「南三陸・海のビジターセンター」と「石巻・川のビジターセンター」で多様な自然体験活動を提供しています。



国立公園の利用上のマナー

多くの方々に楽しく利用していただくために、国立公園内では自然を大切にすることを心がけ、次のことを守ってください。



ゴミを捨てないでください



花や植物を採らないでください



野生動物に餌を与えないでください



動物を獲らないでください



歩行中禁煙



たき火は指定の場所で行いましょう



足下注意（転落注意）



高波・波浪・強風に注意（潮位の変化に注意）



雨天時・土砂崩れに注意



地震・津波に注意
（大きな揺れを感じたら高所へ避難）



危険・クマ出没注意

・他の利用者や地元の人に出会ったら挨拶をしましょう。
・歩道以外の森や畑、人家の敷地などには入らないようにしましょう。

01 種差海岸



岩礁、草原、砂浜と変化に富む海岸です。季節ごとに咲きつる花々や鳴き砂の浜、広大なシバ草原を楽しむことができます。

02 階上岳



北上山地最北の山で、山頂からは太平洋まで一望できます。6月上旬頃には朱色の美しいヤマツツジが一面に広がります。

03 小袖海岸



つりがね洞などの奇岩・岩礁の連なりが見られます。北限の海女でも知られる地域で、伝統的な漁業風景に出会うことができます。

04 十府ヶ浦



三陸では珍しい長大な砂浜で、古くから歌枕に詠まれる景勝地です。ハマナスやハマエンドウなど海浜植物が豊かです。

05 黒崎展望台



展望台からは、久慈方面の海岸線が一望できます。南北に延びる自然歩道の起点でもあり、ハイキングを楽しむことができます。

06 北山崎



高さ200mの断崖が8kmに渡って連なる三陸を代表する景勝地です。小型漁船に乗って海上を探勝するプログラムがあります。

07 熊の鼻展望台



熊の頭と鼻先に似ていることから名付けられた海食洞窟「熊の鼻」を見ることができます。周辺は恐竜化石の産地として有名です。

08 浄土ヶ浜



白い岩肌と、マツの緑、海の青のコントラストが美しい名勝です。カタクリ、スカシユリ、ハマギキなど季節ごとの花が見られます。

09 山田湾



波穏やかな山田湾、美しい砂浜がある無人島と、カキなどの養殖筏が浮かび、シーカヤックツーリングに最適です。

10 蓬萊島



大槌湾に浮かぶ「ひょうたん島」として、町民に親しまれている島で、震災後、灯台が再建され、島は復興のシンボルになっています。

11 御箱崎千畳敷



箱崎半島の先端に、花崗岩の巨岩が累々と積み重なる千畳敷があり、釜石市を代表する景勝地となっています。

12 碁石海岸



断崖絶壁が向かい合う「乱噺谷」や、海に浮かぶ奇岩「穴通磯」など、変化に富んだ海岸地形が連続する景勝地です。

13 広田半島



荒波の侵食により崖地に狭い水路地形が形成された黒崎仙峡。花崗岩の白い海岸が美しい広田崎などの海岸風景を楽しめます。

14 気仙沼大島



快水浴場百選に選ばれた「小田の浜」や鳴砂の「十八鳴浜」があり、亀山山頂からはリアス海岸の大展望が広がります。

15 柳津虚空蔵尊



日本三大虚空蔵尊の一つで、森に囲まれた静かな雰囲気です。境内には、スギ、イチヨウ、ケヤキなどの巨木が並びます。

16 神割崎



神様が崖を二つに割ったという伝説が残る景勝地です。周辺のキャンプ場からは、芝生越しに広がる海の風景が楽しめます。

17 大六天山



牡鹿半島の付け根にある標高439mの山で、山頂からは女川湾を一望することができます。

18 金華山



金華山黄金神社があり、周辺の森ではシカやサルに出会えます。鮎川港と女川港から船で島に渡ることができます。

Information	施設案内
	種差海岸インフォメーションセンター 〒031-0841 青森県八戸市大字鮎町久保14-167 [TEL] 0178-51-8500 [URL] https://tanesashi.info/
	北山崎ビジターセンター 〒028-8402 岩手県下野市伊豆野畑村北山129-10 [TEL] 0194-37-3248 [URL] https://www.vill.tanohata.iwate.jp/kankou/see/visitor-center.html
	浄土ヶ浜ビジターセンター 〒027-0001 岩手県宮古市日立浜町32-69 [TEL] 0193-65-1690 [URL] https://jodogahama-vc.jp/
	碁石海岸インフォメーションセンター 〒022-0001 岩手県大船渡市末崎町字大沢221-68 [TEL] 0192-29-2359 [URL] https://goishi.info/
	唐桑半島ビジターセンター 〒988-0554 宮城県気仙沼市唐桑町崎浜4-3 [TEL] 0226-32-3029 [URL] https://kesennuma-kanko.jp/visitor-center/
	南三陸・海のビジターセンター 〒986-0781 宮城県本吉郡南三陸町戸倉字坂本2-1 [TEL] 0226-25-7622 [URL] https://kawatominovisitor-center.jp/umi/
	石巻・川のビジターセンター 〒986-0201 宮城県石巻市北町十三新字東田1 [TEL] 0225-24-6506 [URL] https://kawatominovisitor-center.jp/kawa/
	牡鹿半島ビジターセンター 〒986-2523 宮城県石巻市鮎川浜南50-1 [TEL] 0225-24-6912 [URL] https://oshika-vc.jp/

※開館時間などについて詳しくは各施設にお問い合わせください。

